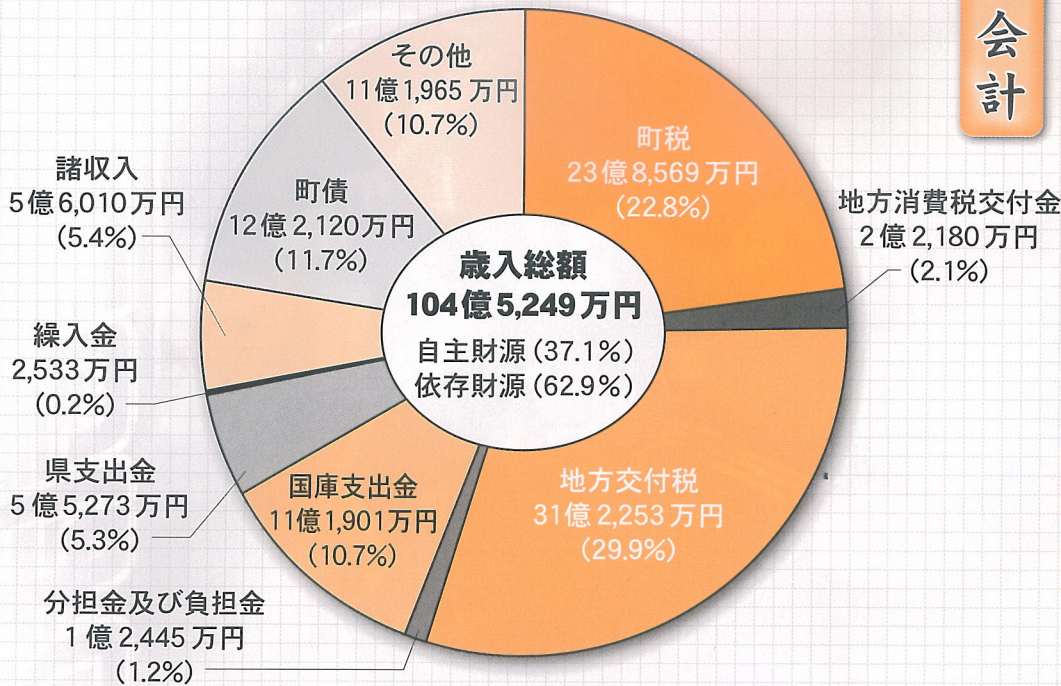


平成22年度

一般会計

決算

歳入



一般会計は、基本的な行政サービスに使われるもので、町のお金の流れの中心となるものです。決算額は、歳入総額 104 億 5,249 万円に対し、歳出総額 99 億 887 万円となり、歳入歳出の差し引き額は 5 億 4,362 万円でした。平成 21 年度と比べてみると、歳入で 9 億 6,322 万円、歳出で 7 億 9,723 万円、差し引き額では 1 億 6,599 万円と、それぞれ減額となっています。

■ 町に入ってきたお金 (歳入)

決算額		一般家庭の家計簿に例えると…		
町税や使用料・手数料など	38 億 7,342 万円	給料・パート収入・預金からの引き出しなど	185 万 2,900 円	自主財源
町債発行	12 億 2,120 万円	ローン借入れ	58 万 4,200 円	
国・県支出金など	53 億 5,787 万円	親からの援助など	256 万 2,900 円	
合計	104 億 5,249 万円	合計	500 万円	

給料や預金からの引き出しなどを「自主財源」といい、ローン借入れや親からの援助を「依存財源」といいます。自主財源の割合が高いほうが、やりくりしやすいのです。

町では、およそ 37% が自主財源、63% が依存財源になっています。車の購入や住宅の増改築(町では道路や学校の建設)など高額なものは、計画的・効率的に借入れを行い返済していきます。

財政状況の公表

「町の家計簿」ともいえる平成22年度決算が9月定例議会で承認されました。決算とは、みなさんが納めた税金や国・県からの補助金等をもとに、どのような事業が行われたかを示すとともに、町の1年間のあゆみでもあります。今回は、決算状況をわかりやすくするため、みなさんの家庭における家計簿におきかえて、町に入ってきたお金104億5,249万円を500万円に縮小してお知らせします。